

第2学年 生活科学学習指導案

活動場所 2年梅組教室
授業者 前田 まひる
児童数 27名

1 単元名 生きもの なかよしたい

2 単元設定の理由

(1) 単元に関する児童の実態

本校は、校舎の目前に多くの生き物が生息する雑木林が広がるとともに、校庭には、メダカやザリガニのいる池やバッタなどの昆虫がいる草むらがあり、児童が身近な生き物に関わることができる自然豊かな環境となっている。本学級には、明るく活発な児童が多く、休み時間になるとほとんどの児童が校庭で遊んでいる。中には、大きなアリやダンゴムシなどの生き物を見付けることに夢中になり、「いろいろな生き物を見付けたい」「生き物を飼ってみたい」という生き物との関わりにおける思いや願いをもつ児童の姿も見られる。その一方で、生き物に対して「こわい」「気持ち悪い」など、不安や苦手に思う児童や、見つけた生き物を自分本位に乱雑に扱ってしまう児童の姿もある。そこで、生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物が元気に生き続けられるよう、自分たちにできることを考え、繰り返し関わることで、生き物への愛着を育み、生命あるものを大切にしようとする児童を育てていきたいと考え、本単元を設定した。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を主として構成している。ここでは、自然の中で生き物を探したり、捕まえた生き物の世話を通して繰り返し関わったりすることで生き物へ親しみや愛着をもち、大切にすることができるようになることをねらいとしている。

第1次では、これまでに生き物と関わった経験を振り返るとともに、生き物探検を通して、生き物への関心や飼育することへの興味を高めることができるようにする。第2次では、実際に生き物を飼うことを通して、生き物に合ったすみかや食べ物について友達と話したり、図鑑で調べたりする活動を繰り返し行う中で、生き物の変化や成長の様子への気付きを促し、生き物と関わる楽しさや喜びを味わうことができるようにする。そこで、飼育活動では、同じ生き物を育てる児童同士でグループを編成し、常時活動の中で生き物への気付きを交流できるようにする。また、他教科と関連させて、生き物の大きさや模様、動きなどの特徴を見付けたり比べたりする学習活動を行い、自分が育てている生き物の個性や魅力にも気付けるようにする。

第3次では、これまで飼育してきた生き物を、身近な人に紹介する活動を行うことで、自分たちの大切な生き物であるということを実感し、生き物への更なる愛着につなげていく。最後に、第4次では、生き物や季節の変化に合わせて、これまで大切に育ててきた生き物を今後どうするかを考えることを通して、生き物の立場に立って考え、生命を大切にしようとする思いを高める。そして、これまでの飼育活動を振り返り、飼育を終えた後にも、生き物への親しみや愛着をもち続け、生命あるものを大切にしようとする心情や態度を養いたい。

3 単元の目標

生き物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物が育つ場所や変化の様子に関心をもって働きかけ、生き物に合った世話の仕方があることや生き物も自分たちと同じように生命をもち、成長していることに気付き、生き物に親しみや愛着をもち、大切にしようとするようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物に合った世話の仕方があることや生き物も人間と同じように生命をもち、成長していることに気付いている。	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な生き物を探したり飼ったりする活動を通して、飼育する生き物にとってより良い環境になるように調べたり、人に聞いたりして工夫し、生き物に親しみ、大切にしようとしている。

5 単元構想(14時間) (ア:知識・技能 イ:思考・判断・表現 ウ:主体的に学習に取り組む態度)

学習活動	児童の意識の流れ	活動の主な支援	評価基準	他教科等との関連
<p>第1次 生きものなかよしたい出どう (3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き物を見付けたり、捕まえたりした経験や、どんな場所にどんな生き物がいるかを話し合い、探検場所を決める。(1時間) 生き物探検に出かける。(2時間) 	<p>どんな生き物を見付けたことがあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 春探して池にメダカがいたよ。 中庭の花壇にいろんな大きさのダンゴムシがいたよ。 校庭の草むらにも大きなバッタがいたよ。 いろんなところに見付けに行きたいな。 丸山神社に行ってみよう。 <p>いろんな生き物を見付けに行こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 石の下をのぞいたらダンゴムシがいっぱいたよ。 池には、メダカやザリガニもいたよ。 いろんな模様のバッタがいたよ。 学校で育てたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭や近くの公園など身近な場所の写真を提示するとともに、これまでの生き物に関わる経験を問うことにより、生き物や関わりについて想起しやすくし、活動への興味や関心を高めることができるようにする。 事前に危険な生き物について伝え、安全に活動できるようにする。 フィールドビンゴを活用し、生息場所を予想して生き物を探することができるようにする。 	<p>ア 学校の近くや家の近くに多くの生き物がすんでいることに気付いている。</p> <p>イ 友達と協力し、生き物がいる場所を予想しながら探している。</p> <p>ウ 元気に育てたい、仲良くなりたいという思いや願いをもって、関わろうとしている。</p>	<p>音楽科 「虫のこえ」</p> <p>道徳科 「まいごになった赤ちゃんくじら」</p> <p>国語科 「ビーバーの大作事」</p> <p>国語科 「同じところ、ちがうところ」</p>
<p>第2次 生きものをそだてよう (4時間+常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き物探検を振り返り、生き物を育てる計画を立て、準備をする。(2時間) 生き物探検に出かける。(2時間) 生き物の世話をする。(常時) 	<p>見つけた生き物を大切に育てる準備をして、生き物を飼おう。</p> <p>〈調べ学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな場所に住んでいるのかな。 何を食べるのかな。 タブレットや図鑑で調べたり、理科の先生に聞いたりしてみよう。 <p>〈すみか作り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 草むらにいたから草を入れてあげよう。 もともといた場所には、落ち葉もあつたね。 <ul style="list-style-type: none"> ミミズも食べるんだって。校庭に探しに行こう。 草がカラカラになっているよ。新しいものに変えよう。 おいしそうに食べてくれたよ。うれしいな。 〇〇ちゃんが脱皮したよ。 どうしたんだろう、元気がないよ。 落ち葉に隠れるのが好きなのかな。 すごい！後ろにシュッと泳ぐんだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物に関するサイトを紹介したり、図鑑を用意したりし、常時、インターネットや図書を用いて調べることができるようにしておくとともに、飼育に必要なものを随時用意する。 観察カードやタブレットを用いて生き物の様子を記録し、学級で紹介する場を設けることで、気付きを共有したり促したりし、世話の仕方を見直したり工夫したりすることができるようにする。 世話の仕方や生き物の様子について、共感や賞賛の声かけを行うとともに、苦手な児童と一緒に観察し、継続して世話をすることができるようにする。 	<p>イ 生き物が育つ場所や生き物の変化や成長の様子に着目して、すみかや餌、育て方を見直しながら生き物に応じて世話をしている。</p> <p>ア 生き物の特徴、変化や成長の様子、命があること、生き物に合った世話の仕方に気付くとともに、適切な仕方でも世話をしている。</p>	<p>国語科 「たからものをしようかいしよう」</p>
<p>第3次 生きものをしようかいしよう (5時間+常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な人に生き物を紹介する計画を立て、準備をする。(4時間) 生き物の紹介をする。(1時間) 生き物の世話をする。(常時) 	<p>生き物の「じまんポイント」を見付けて紹介しよう。(本時 2/5 時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生やお家の人に伝えたいな。 〇〇ちゃんのことを「かっこいい」って思っほしいな。 生き物のことを好きになってほしいな。 <ul style="list-style-type: none"> 〇〇ちゃんが命がけて脱皮したよ。 〇〇は、餌をあげるときの顔がとても可愛いよ。 〇〇は、すばやく隠れることができるよ。 〇〇ちゃんが動いているところを見せて紹介しよう。 餌を食べる様子を紙芝居にしてみよう。 動く様子をペープサートで表そう。 <ul style="list-style-type: none"> 可愛いって言ってくれてうれしかったよ。 生き物を飼ってみたいって言われたよ。 これからも大切にお世話するぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動の様子から、生き物を大切に思ったり愛着をもったりする児童の姿を写真やエピソードで紹介することで、自分の生き物を紹介したいという思いをもつことができるようにする。 生き物の特徴を「じまんポイント」として選び出すことで、生き物のよさをさらに見付けようとする意欲を高め、そのよさに合った表現方法を選び、工夫して表現することができるようにする。 校庭や公園の景色や生き物の様子が変わってきたことを話題にし、冬に向け生き物がどうなるのかを調べるよう促したりし、生き物の様子の変化に気付き、生き物の立場に立って、飼育を続けるかを考えることができるようにする。 生き物の世話をして嬉しかったことや大変だったことは何かを問い、共感や称賛することで、生き物への思いや自分自身の変化に気付くことができるようにする。 	<p>イ 生き物との関わりを振り返りながら、生き物のよさを決めたいことを決めている。</p> <p>ウ 生き物に関する願いをもち、進んで伝えたいことを表現したり、相手に紹介したりしようとしている。</p> <p>イ 生き物との関わりを振り返り、世話をしていることや生き物への思い、自分自身の変化について表現している。</p> <p>ウ 生き物への親しみが増したことに自信をもち、大切にしようとしている。</p>	<p>道徳科 「はたらのいのち」</p>
<p>第4次 これまでの活どうをふりかえろう (2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 世話してきた生き物をこれからどうするか話し合う。(1時間) これまでの表現物をまとめ、飼育活動を振り返る。(1時間) 	<p>生き物の将来のことを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これからも育てたいな。 今までありがとう。元の場所に返すね。 <p>生き物を育てたことを振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> お世話は大変だったけど、最後まで頑張って育てられてよかった。 初めは怖かったけど触れるようになった。 生き物のことがもっと好きになったよ。 これからも生き物を大切にしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物の世話をした嬉しかったことや大変だったことは何かを問い、共感や称賛することで、生き物への思いや自分自身の変化に気付くことができるようにする。 	<p>ウ 生き物への親しみが増したことに自信をもち、大切にしようとしている。</p>	<p>道徳科 「ほく」</p>

6 本時の学習

(1) 目標 これまでの生き物との関わりから、自分の生き物のよさを見付け、身近な人に紹介する内容や方法を考えることができる。

(2) 展開

(○：指導 □：評価)

学習活動	指導上の留意点と評価規準
<p>1 これまでの活動を振り返り、本時のめあてや活動内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○○ちゃんの「じまんポイント」を見つけ、しょうかいのし方を考えよう。</p> </div> <p>2 これまでの生き物との関わりをグループで振り返りながら、○○ちゃんについての「じまんポイント」を見付け、相手に紹介したい内容を考える。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>○○ちゃんの大きくて太い足がかっこいいよね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> <p>だから、○○ちゃんはとても高く跳べんだよね。虫かごから跳び出したこともあるよ。</p> </div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>○○ちゃんは、エノコログサをよく食べるよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> <p>○○ちゃんのことを「かっこいい」と思っ てほしいから、○○ちゃんが高く跳べ るところをしょうかいしようよ。</p> </div>  </div> <p>3 相手に伝えたい内容に合う表現方法について学級全体で話し合い、グループで表現方法を考える。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>○○ちゃんが高く跳ぶところを紹介したいから、動かすことができるペーパーサートに表すといいんじゃないかな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> <p>作った衣装を着けて、自分で動いて見せたら、よく伝わるかも。</p> </div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>草をよく食べて元気なところを伝えたいから紙芝居で表わすのはどうかな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;"> <p>実際に、○○ちゃんに草を食べさせているところを見せるのもいいね。</p> </div>  </div> <p>4 本時の活動を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>○前時に話し合った内容を提示し、生き物を紹介することへの思いや願いを想起できるようにすることで、本時のめあてをつかみ、本時の活動の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○単元を通して使用してきたワークシートや観察カード、タブレットの写真を用意するとともに、育てている生き物をいつでも確認できるようにする。また、これまでの活動で見取った、児童の生き物への気付きや、大切に思ったり愛着をもったりする姿を伝え、共感したり称賛したりすることで、「じまんポイント」を進んで見付けることができるようにする。</p> <p>○付箋を用いて生き物の「じまんポイント」を書き出し、整理する方法を提示したり、紹介する相手にどのように伝わるかを問うたりすることにより、整理した中から紹介する内容を選ぶことができるようにする。</p> <p>○これまでに取り組んだ表現方法を提案するとともに、自分の生き物の「じまんポイント」が伝わりやすい表現方法について学級全体で話し合う場を設けることにより、自分のグループの紹介内容に合う表現方法を考えることができるようにする。</p> <p>□生き物との関わりを振り返りながら、生き物のよさを見付け、相手に伝える内容や方法を考えている。 (発言・記述) [イ]</p> <p>○振り返りカードを用意するとともに次時の活動内容を伝え、本時の活動を振り返り、次時への期待をもつことができるようにする。</p>

(3) 評価及び指導の手立て

<p>「十分満足できる」と判断できる状況</p>	<p>ワークシートや観察カード、タブレットの写真を見返したり、生き物を実際に見て確認したりしながら、自分の生き物のよさを見付け、紹介する内容を考えたり、他のグループの友達からの意見をもとに、生き物のよさに合う紹介の方法を考えることができている。</p>
<p>「おおむね満足できる」状況にするための手立て</p>	<p>観察カードやタブレットの写真などから、生き物のよさを一緒に見付けたり、これまでの活動で見取った、児童の生き物への気付きや、大切に思ったり愛着をもったりする姿を伝え、共感したり称賛したりすることで、自分の生き物のよさを見付け、紹介する内容や方法を考えることができるようにする。</p>